

ぱとす



第50号

2025年
秋号

Volume 13 Number 4 October 2025

今回の市民公開講座も大ホール 350 席が満席に



官製談合

—地方で起っていることは日本の中枢の縮図—

日本は今年も長い厳しい暑さが続きましたが、10月になりやっと朝夕の涼しさが感じられるようになりました。また、4日には、日本初の自民党女性総裁に高市早苗氏が決定し、日本初の女性首相が誕生すると思いますが、皆様方におかれましてはこれまで通りご清祥のことと拝察申し上げます。



当院は、このような日本の激変の中、皆様方のご支援の下で一丸となって、「変わらぬ」質の高い急性期医療の実践を行ないながら「まちづくり」にも貢献するように最大限の努力をしております。そして、このように努力できますことは、医師会、熊本大学教授陣、国・県・市行政ならびに市民の皆さま方のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

ところで突然のことですが、驚天動地、10月4日、3年前の八代新市庁舎建設を巡り「熊本県八代市171億円官製談合を告発—これは改ざんだ—（内部文書入手）」という文春砲が炸裂致しました。この正にオールドメディアの典型のように何も変わらない田舎のまちに、大鉦の警告が鳴らされました。

実は、八代市庁舎は当院のお隣に建っております。そして、2014年の熊本地震において熊本県の諸市役所も大変な被害を受け、次々に新市庁舎群が建設された訳ですが、この八代新市庁舎建設を巡っては、「熊本県の他の新市庁舎は50億円以下で建設されているのに、何故、八代市だけは170億円以上という巨額が掛かったんだろうか？」、という市民の皆さんの声は、成程、的を突いていたのかもしれない。

また、私共の熊本総合病院の信念は「医療と共に公に一肌脱ぐ」でございます。そして、その具体的な実践として「『まちづくり』を推進する」を掲げて、職員が一丸となってレガシーの新病院を建設しましたが、市民の皆さんから「新市庁舎建設も『八代のまちづくり』の継続となるように」という声もあったようで、このようなことが指摘されて誠に残念に思います。

一方、皆様ご承知の通り、日本では以前から官製談合や金と政治のウラガネ問題が世間を賑わしています。正に、上記のように八代のような地方で起っていることは日本国で起っていることの縮図であり伝染病でございます。

そのような事例は枚挙に暇はございませんが、一例を申し上げれば、「2005年の橋梁談合事件」のように、旧日本道路公団副総裁が事前に知りうる立場を利用し、企業の利益を図り、道路公団に財産上の大損害を与えたため、収賄の事実が明らかにならなくとも、副総裁は「背任で有罪」となりました。

このように、飽きもせず国の機関と政治と大企業における官製談合や癒着やウラガネが横行していることは誠に遺憾であり、悪党共はウラガネ隠しのプロですから、収賄の事実が明らかにならなくとも背任の有罪判決を下して撲滅されなければなりません。

さておき、わたくし共の熊本総合病院は、次第に涼しくなっている気候の下、引き続き全職員が一丸となって、「医療とともに、公に一肌脱ぎ」ながら「医療のみならずまちづくりにも貢献する」意気込みで、地方創生・人口増加・少子化阻止にも少しでも寄与できるように、さらに精進して参ります。皆さま方の格別のご支援を何卒宜しくお願い申し上げますとともに、皆さま方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和7年10月吉日

最先端技術で、もっと「自分らしい歩き」を！

当院に導入された最新鋭ロボット支援システムによる人工膝関節置換術

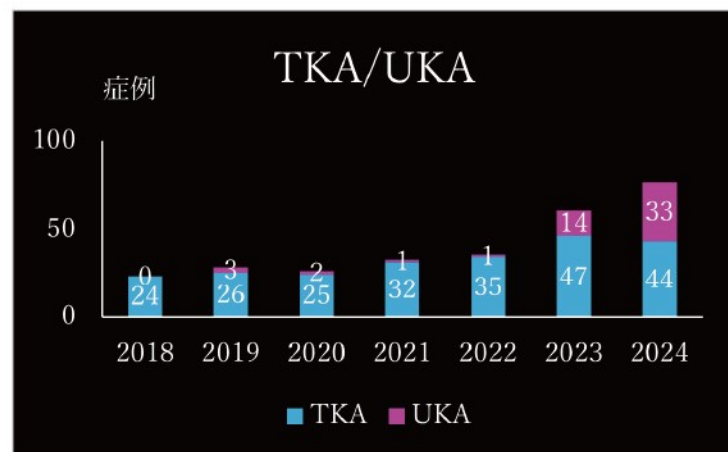
整形外科医長 白石 大偉輔

「長引く膝の痛みで、旅行や散歩をあきらめている。」「手術を受けるなら、できるだけ正確で、負担の少ない治療を受けたい。」当院では、そのような患者さまがより早く、より自然な歩行を取り戻せるように、このたび**最新鋭の人工膝関節置換術支援ロボットシステム「VELYS™ Robotic-Assisted Solution（ベリス ロボティック・アシステッド・ソリューション）」を導入**しました。当院は、年間100件の膝関節手術実績に基づき、患者さま一人ひとりの症状と生活背景に合わせた最適な治療で、「**再びスムーズに歩ける喜び**」の実現をサポートします。

1. 当院の実績

内服薬やリハビリで改善が見られない進行した症状に対し、当院では経験豊富な専門医が、最新の技術を活用し、根本的な改善を目指す手術を提案します。

手術法	特徴	2024 年度 当院実績
人工膝関節置換術 (TKA/UKA)	傷んだ関節の表面を人工関節に置換します。重度の変形に対しても高い除痛と機能改善が期待できます。	【77 件】
膝関節周囲骨切り術 (AKO)	脛骨や大腿骨の一部を切って下肢の変形を矯正し、ご自身の膝関節を温存します。	【1 件】
関節鏡視下手術	カメラを用い、小さな傷で半月板や軟骨や靱帯の処置を行います。低侵襲で早期回復を目指します。	【22 件】



2. VELYSを使用するメリット

この最新システムによる人工膝関節置換術は、従来の術式と比較して、主に以下の点で患者さまにメリットをもたらします。

- 術中のリアルタイムなデータに基づき、**0.5mm、0.5度という非常に高い精度で骨を切除し、人工関節を最適な位置に設置**します。
- 患者さま個々の膝の形状や靱帯バランスに合わせた「**個別対応の手術計画**」を実行することで、**術後の痛みの軽減や回復の早さ**につながり、より自然な膝の動きと安定性の向上が期待できます。
- 人工関節の設置位置が精密であるため、関節の摩耗を減らし、**人工関節の長期的な耐用年数に寄与**することが期待されます。



3. 当院の取り組み

人工膝関節置換術の目標は、患者さまが膝の痛みを忘れて、再び活動的で豊かな生活を取り戻すことです。VELYSは、その目標達成に向けた大きな一歩となります。膝の痛みでお悩みの方へ、**自信をもって「自分らしい歩き」を再開するために、当院はVELYSとともに最適な治療を提供**してまいります。

4. こんな方はぜひご相談ください

膝の痛みは我慢しないことが大切です。「**階段の昇り降り**で膝が痛む」、「**歩き始めや長時間歩いた後に膝が痛む**」、「**膝の変形が目立つ**、O脚やX脚が進んでいる」、「**ヒアルロン酸注射、内服・湿布、リハビリテーションで改善がみられない**」などの症状に**心当たりのある方は、ぜひ一度ご相談ください**。

「もう一度、痛みなく歩きたい」という願いを、**VELYS**と当院の確かな技術で実現させましょう。**膝の専門医**が、最先端の医療技術と温かいサポートで、全力で向き合います。

県内唯一の「耳科手術認定研修施設」に認定

耳鼻咽喉科・頭頸部外科/中耳・内耳手術センター 蓑田 涼生
(みのだ耳鼻咽喉科クリニック/Kumamoto Ear Institute)

このたび当院は、一般社団法人日本耳科学会より「耳科手術認定研修施設」として正式に認定されました。これまで積み重ねてきた高度な耳科手術の実績と、次世代の医師を育成する教育体制が学会に認められた結果であり、**熊本県内では初めて、そして唯一の認定施設**となります。

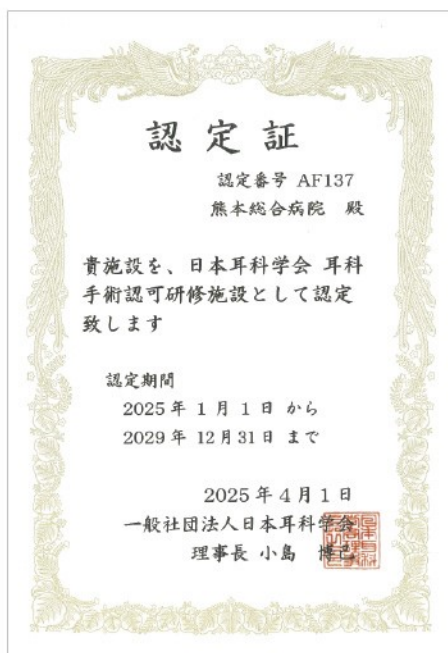
「耳科手術認定研修施設」の認定は、単に手術件数が多いだけでなく、難聴や中耳炎など多岐にわたる耳の疾患に対して、**精密かつ安全性の高い手術を安定して提供できる技術力と、質の高い教育環境**を兼ね備えた施設に与えられます。今回の認定により、**当院の耳科手術水準が高いレベルにあることが公的に証明**され、ご来院いただく皆様に一層の安心と信頼をお届けできるものと確信しております。

近年、「**難聴**」は会話によるコミュニケーションの障害をもたらすだけでなく、進行すると認知症のリスクを高めることが研究により示されており、大きな社会問題となっています。当科では、難聴でお悩みの患者さまに対し、**手術治療を中心とした最適な治療法のご提案**に努めております。

治療にあたりましては、患者さまの身体的負担を軽減するため、**内視鏡を用いた低侵襲手術**を積極的に導入しています。これにより、安全かつ確実な治療の提供に加え、早期の社会復帰、そして生活の質の向上（QOLの改善）に貢献できるよう尽力しております。

今回の認定は、地域の皆様のご支援と、関係者の多大なご協力により実現したものです。**この認定を新たな出発点とし、これからもより良い耳科医療の提供と地域社会への貢献に邁進してまいります。**

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



第81回 熊本総合病院市民公開講座開催報告

循環器内科診療部長 上村 孝史

2025年9月13日（土）、当院北館5階大ホールにて「第81回熊本総合病院市民公開講座」を開催いたしました。当日は多くの市民の皆さまにご来場いただき、**350席が満席**となる盛況となりました。

今回のテーマは「**心臓病を予防しよう — 心・腎・糖のつながりを知って、いのちを守る —**」です。心臓病の予防には、心臓のみならず腎臓や糖尿病との関連を理解することが重要です。そこで**熊本大学心臓血管外科の福井寿啓教授に司会を務めていただき**、循環器科、心臓血管外科、腎臓内科、糖尿病内科の専門医に加え、管理栄養士も登壇し、最新の医療知識と日常生活に役立つ実践的な工夫、さらに食生活改善の具体的なポイントについてわかりやすく解説しました。**参加者からは「生活を見直すきっかけになった」「専門医の話を直接聞いて理解しやすかった」との声が寄せられ、健康意識の向上につながる有意義な機会となりました。**

当院は今後も、市民の皆さまに信頼いただける医療の提供と健康啓発活動を継続してまいります。



こんにちは赤ちゃん

ご出産おめでとうございます

笑顔あふれる毎日になりますように。



新型出生前診断（NIPT）をはじめました

10月より無侵襲的出生前遺伝学的検査（NIPT）、いわゆる**新型出生前診断**を始めました。**熊本市外では初めての実施施設**となります。超音波による胎児精査や各種血清マーカー検査にも対応しています。詳細は当院ホームページ「診療科のご案内」より「産科婦人科」⇒「遺伝外来」をご覧ください。



グリーンライトアッププロジェクト

臓器移植コーディネーター・副院長 堀野 敬

臓器移植への理解が広がることを願って、**臓器移植法施行日**を記念した**グリーンリボンデー**の10月16日を中心に全国各地の著名なランドマークや建物を移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップするプロジェクトで当院も参加しています。

この光には、ドナー（臓器提供者）への感謝に加え、**移植を待つ人たち、移植医療を支える医療者へのエール**の意味も込められています。



駐車場のご利用について

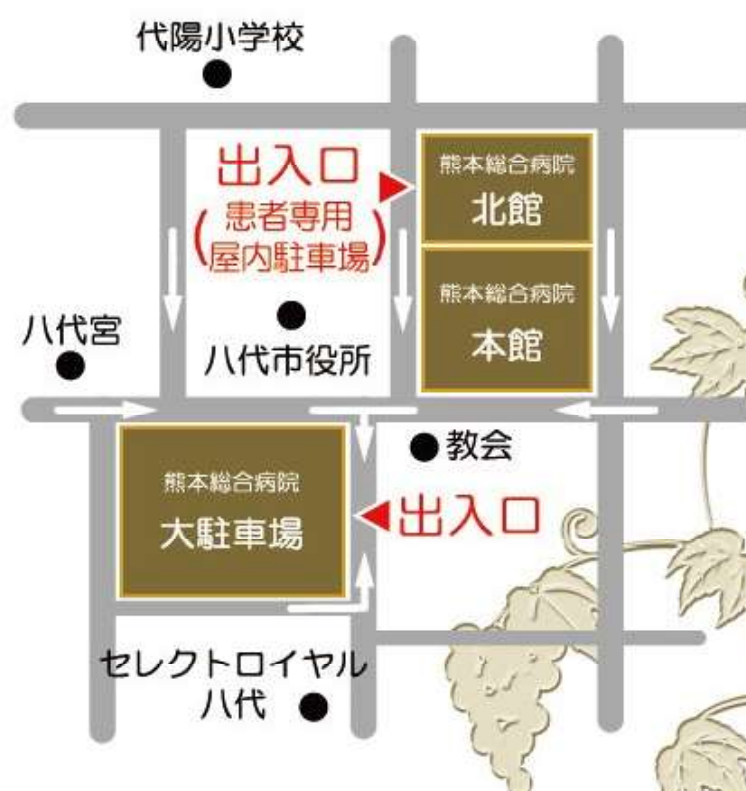
患者専用駐車場

熊本総合病院**北館**1階に**患者専用駐車場**をご用意しております。屋内の駐車場ですので天候に左右されずご利用いただけます。**無料**ですが、**認証が必要**です。

大駐車場

基本的に**無料**ですが、平日は当院による**認証が必要**となっております。**土日祝日は市街地活性化のために認証不要**です。

22時以降の駐車はできません。（以降は高額な駐車料となります）



JCHO 熊本総合病院

〒866-8660 熊本県八代市通町10番10号

電話 0965-32-7111(代表)

FAX 0965-32-2772

URL <https://kumamoto.jcho.go.jp/>

発行日：令和7年10月20日

発行責任者：病院長 島田信也

